

「大きな経験を経て」

3月2日(月)に送る会が行われました。扶桑中の3本柱「挨拶」「清掃」「合唱」の引き継ぎ式、議員による出し物、そして、各学年の出し物があり、短い時間に内容がぎゅっと詰まった会になりました。1年生は、3年生の先生に関する2択クイズを考え、出題しました。先輩たちは大いに楽しんでくれたと思います。最後には3年生への感謝の気持ちを言葉に乗せて伝えました。

会全体を通して、温かさに満ちた時間が流れていきました。これが今の扶桑中の一番のすばらしさだと思います。

扶桑中の3本柱については、前回の学年通信で伝えた通り、さまざまな機会を通して振り返り、磨き上げてきました。この3つに共通するものは「心」だと考えます。



「挨拶」の「挨」には「ひらく」、「拶」には「近づく」という意味があるそうです。つまり「挨拶」とは「心を開いて近づく」という意味になります。

「清掃」は、単に周りをきれいにするだけでなく、心を磨くことにつながります。これまで自問清掃を通して、これらのことを考えて取り組んできました。

「合唱」は、3本柱の中でも特に大切にしてきたことです。「曲創り」は「心創り」につながります。さまざまな合唱の機会を通して、心を豊かにできたと感じています。

この3本柱を磨き上げることは、心KOKORO学年の成長にそのままつながります。もうしばらく3本柱に関する取組を続けます。さらに磨きをかけ、来年度入ってくる後輩に、自信をもってその姿を示せるようにしていきましょう。

3月6日（金）には卒業式が行われました。

座っている時の姿勢、動きのそろった起立・礼・着席など、一つ一つの所作から、式にふさわしい態度と厳粛な雰囲気を作り上げることができました。3年生退場の際には2年生と共に「地球星歌」を合唱しました。美しいハーモニーと迫力ある歌声が体育館中に響き渡り、3年生を温かく送り出すことができました。

入学式の時、2・3年生が皆さんに届けてくれた「地球星歌」。この1年間で大切に育ててきたこの曲を、感動の歌声に乗せて届けることができたことをうれしく思います。次は、新たな仲間を迎える入学式で歌います。これからもさらに磨き上げ、大きく育てていきたいです。

また、3年生総代の答辞や3年生による合唱からは、中学校3年間で積み重ねてきた思いの全てがまっすぐに伝わって来ました。言葉に思いを込めて伝えることの大切さと「合唱」のもつ大きな力を改めて感じる時間となりました。

扶桑中生みんなで、感動に包まれたすばらしい卒業式を作り上げることができました。皆さんは、ここ1か月ほどの卒業に関する行事への取組を通して、大きく成長することができたと思います。

3年生が卒業し、いよいよ進級に向けてのカウントダウンが始まります。もう一度、ふだんの学校生活や家庭での過ごし方を振り返り、扶桑中生として、そして、一人の人間として、その場にふさわしい、「正しい判断・正しい行動」がとれているか考えてみましょう。

その一つ一つの意識と行動が、来年度の1年間をつくっていきます。

今回の卒業式で感じた思いや学んだことを大切にしながら、次は皆さんが学校を支える学年として、さらに成長していくことを期待しています。



今後の主な予定 時間割が大きく変わります。予定をしっかりと確認しましょう。

3月12日（木）①②降下訓練（授業の裏で順番に行います）④委員会

13日（金）役員選挙リハ

16日（月）①月2②月3③月5④生徒会役員選挙

17日（火）③火5④火6

19日（木）③木4④総合

23日（月）②月2②月3③月4④月5

24日（火）①修了式、認証式、表彰伝達②大掃除③④学活 給食終了 13:50下校

保護者の皆様へ 日頃は、学校・学年の教育活動に関しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。卒業関係行事に向けての取組を通して成長を感じ、また、卒業式当日は、立派な態度で臨んだり、心に響く感動的な合唱を3年生に届けたりすることができました。今年度は残り2週間ほどとなりますが、最後までご理解・ご協力をお願いいたします。